

ご来院の皆様へ お知らせとお願い

高仁会 新型コロナウイルス感染対策本部

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、社会の様相は一変してしまいました。人々の日々の行動もこれまでにない強さで制限され、仕事も暮しも不自由さをしいられております。

こうした中、病院としてまず第一に取り組まないといけないのは院内感染対策であり、当院は流行の当初からマスク着用、手指消毒等个人防护に注力してまいりました。

一方、今回のような非常時にあっても、良質な医療を継続して提供し続ける、という病院本来の責務を果さねばなりません。精神科病院特有の構造的制約をふまえながら、両立させることは相当に重い課題ではあります。病院は感染対策で行動すると同時に、当然のことながら治療行為を行なわなければなりません。感染予防は過剰であってはならず、不十分であってなりません。過不足はさけなければなりません。

そこで、診療体制を維持しつつ感染を予防する対策として①入館時の体温測定、手指アルコール消毒、②(特段の用件のない)面会、外出の自粛、をお願いしているところであります(なお、上記以外の診療行為、入退院、外来等は通常通りですのでご安心下さい。)

さらに防護策第2弾として今般、当院は「フェーズ別(段階的)対策」を導入することといたしました。これは、流行や発生状況を(1)県内発生なし、(2)県内で発生、(3)県南部医療圏内で発生、(4)自施設関連(職員・患者の家族)で発生、(5)自施設(職員・患者)で発生、という5段階に分け、それぞれの段階に応じた感染策を予め計画しておくものです。発生状況にあった適切な対応策を迅速に行うことで、更なる蔓延を防ぐことができます。また病棟ごとの局面にあわせて対応できる仕組みなので実際的でもあります。

この「フェーズ別対策」を行ううえで、大事なのは「症候サーベイランス」の実施です。これは発熱や嘔吐・下痢などの症状を呈する患者の発生状況を日々報告・集計するシステム(症候サーベイランス)であり、病院感染症の早期発見・早期対応のために大変役に立つものです。

また、この「症候サーベイランス」は、入院患者のみならず、職員やその家族なども対象とすることで、罹患職員の迅速な就労停止、家族から職員への二次感染の危機意識の向上、地域内流行情報の把握にも有用であると考えております。

以上のごとく、感染制御体制を全力をあげて取り組んでおります。このことにより多大なご迷惑をおかけしていると思いますが、何卒ご理解、ご協力の程をお願い申し上げる次第です。